

## (臨床研究に関するお知らせ)

### 和歌山県立医科大学附属病院眼科にて、白内障手術を受けられた患者さんへ

和歌山県立医科大学眼科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

#### 1. 研究課題名

Ngenuity®を使用した白内障手術と従来の鏡筒下白内障手術の安全性と術後成績の比較

#### 2. 研究責任者

和歌山県立医科大学附属病院 眼科 講師 高田幸尚

#### 3. 研究の目的

和歌山県立医科大学での3D Heads Up Surgery (HUS) を用いた白内障手術と従来の鏡筒白内障手術の安全性と術後成績を比較検討する。

#### 4. 研究の概要

##### (1) 対象となる患者さん

和歌山県立医科大学附属病院で2021年10月1日から2022年9月30日までの期間NGENUITY® (Alcon) を用いHUSで施行した白内障手術の連続症例(HUS群)と従来の鏡筒顕微鏡を用いて手術を施行した連続症例(鏡筒群)

##### (2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、術前後の矯正視力、眼圧、術中および術後合併症、顕微鏡の光量(%)に関する情報です。

##### (3) 方法

NGENUITY®を用いHUSで施行した白内障手術の連続症例(HUS群)と従来の鏡筒顕微鏡を用いて手術を施行した連続症例(鏡筒群)をカルテから抽出する。術前後の矯正視力・眼圧、術中・術後合併症の有無、顕微鏡の光量(%)について比較検討する。

#### 5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

#### 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

#### 7. 問い合わせ先

和歌山県和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学附属病院 眼科 講師 高田幸尚

TEL : 0733-447-2300 FAX : 073-441-0515

E-mail : ytakada@wakayama-med.ac.jp